

米国経済・金融概況 (2021年5月)

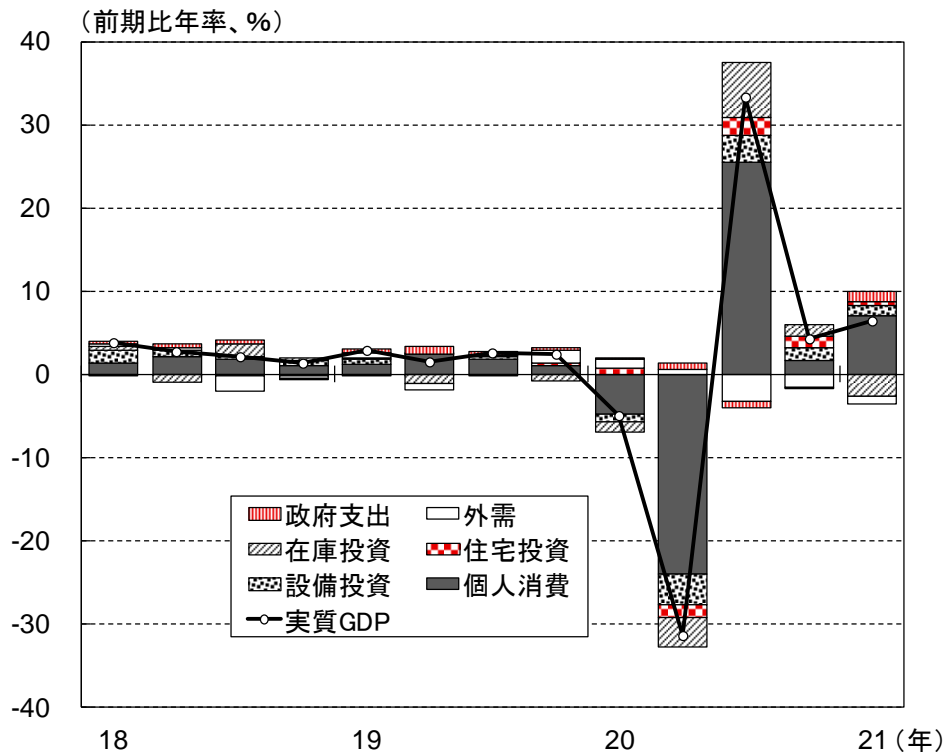
2021年5月14日

経営企画部経済調査室(ニューヨーク)

1. GDP

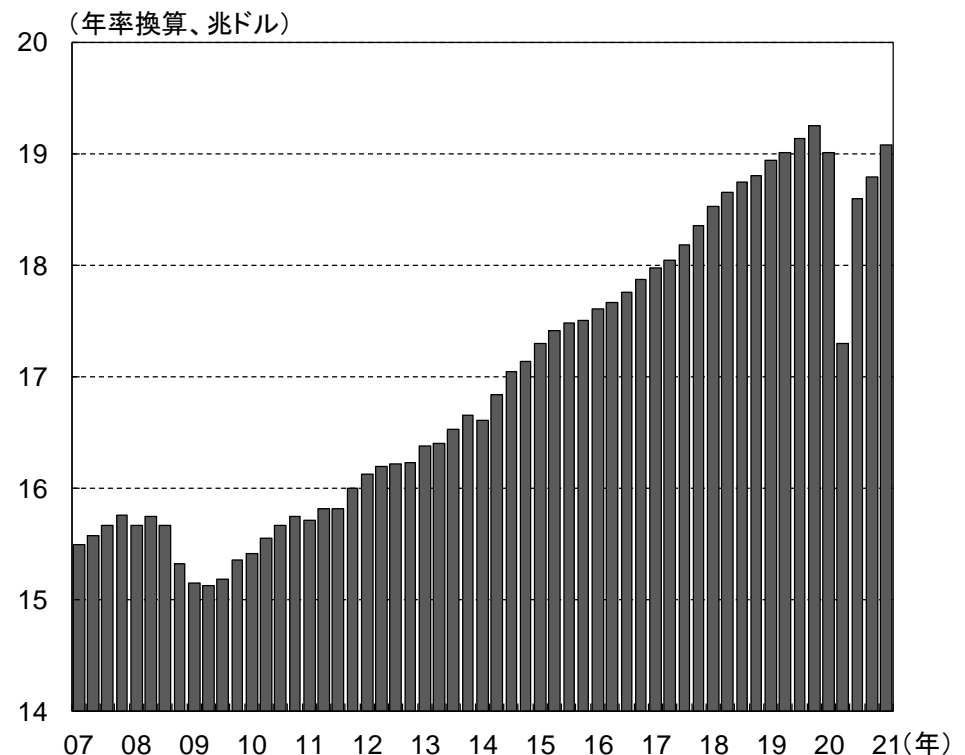
- 1-3月期の実質GDP成長率は前期比年率+6.4%と三四半期連続で増加し、増加ペースは昨年10-12月期(同+4.3%)から加速。
- 需要項目別にみると、設備投資(同+9.9%)と住宅投資(同+10.8%)は減速し、在庫投資は実質GDP成長率に対する寄与度(同▲2.6%ポイント)が三四半期ぶりにマイナスとなった一方、GDPの7割を占める個人消費(前期比年率+10.7%)が加速し、政府支出(同+6.3%)は三四半期ぶりに増加。
- 1-3月期の実質GDPは、パンデミック前の2019年10-12月期に比べて▲0.9%低い水準。

実質GDP成長率の推移(四半期)



(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

実質GDPの推移

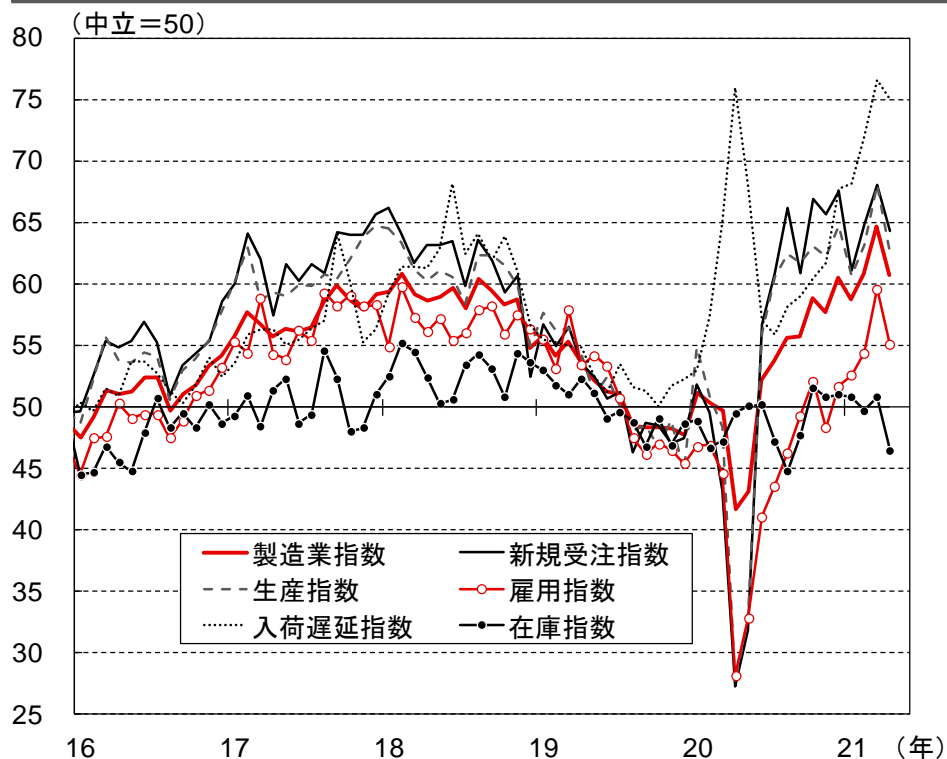


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

2. 企業活動

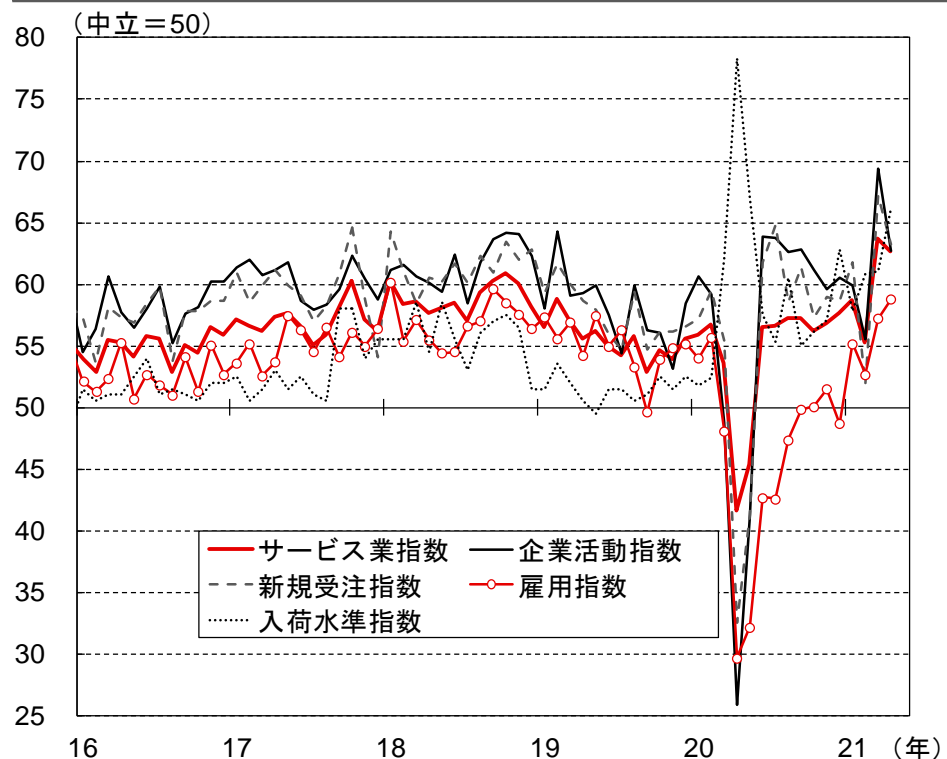
- 製造業の景況感・活動状況を表すISM製造業指数は、4月に60.7と拡大と縮小の境目である50を11ヵ月連続で上回ったものの、前月比▲4.0低下。指数の構成項目をみると、新規受注指数は64.3(同▲3.7)、生産指数は62.5(同▲5.6)、雇用指数は55.1(同▲4.5)、入荷遅延指数は75.0(同▲1.6)、在庫指数は46.5(同▲4.3)と夫々低下。産業別にみると、全18産業が前月から活動の拡大を報告(3月は17産業が拡大、1産業が横這いを報告)。経済活動の再開が進む中、製造業は概して堅調を維持しているが、資材不足など供給側の制約は引き続き生産拡大の抑制要因になっている模様。
- 4月のISMサービス業指数は62.7と、拡大と縮小の境目である50を11ヵ月連続で上回ったものの、前月比▲1.0低下。指数の構成項目をみると、雇用指数は58.8(同+1.6)、入荷水準指数は66.1(同+5.1)と上昇した一方、企業活動指数は62.7(同▲6.7)、新規受注指数は63.2(同▲4.0)と低下。産業別にみると、18産業のうち17産業が前月から活動の拡大、1産業が縮小を報告(3月は全18産業が拡大を報告)。

ISM製造業指数の推移



(資料) 全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

ISMサービス業指数の推移

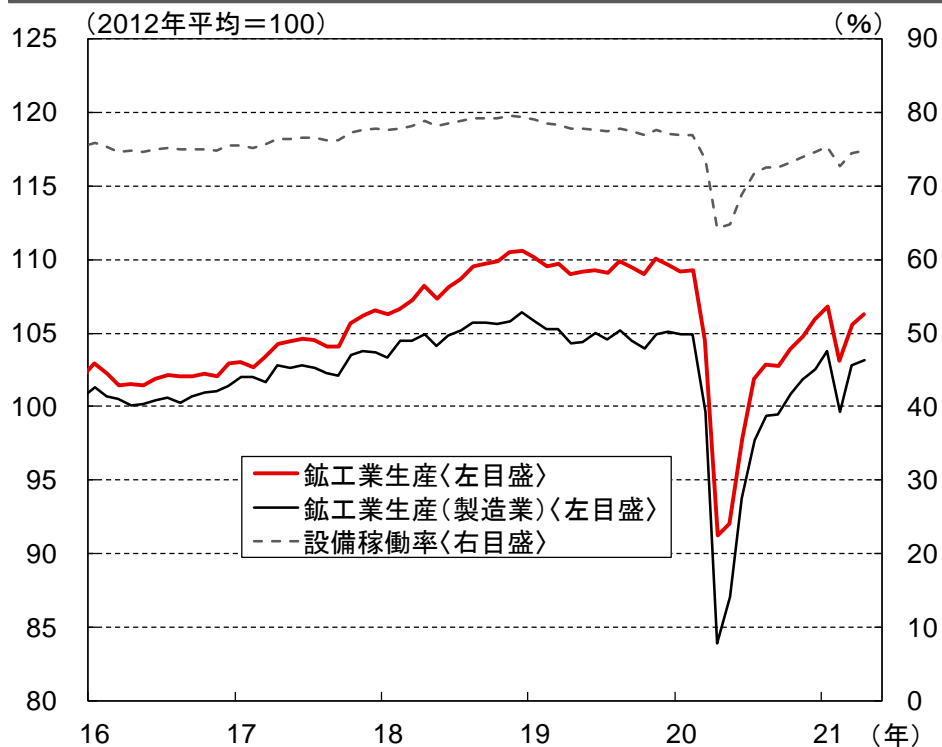


(資料) 全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

3. 生産

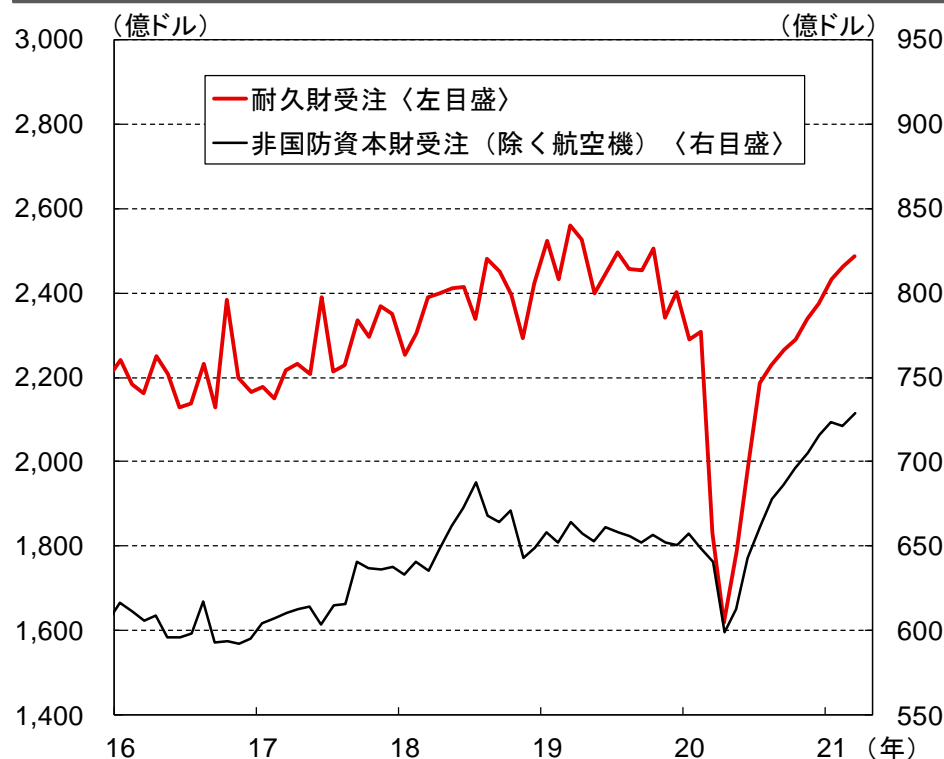
- 4月の鉱工業生産は前月比+0.7%と、2ヵ月連続で増加(3月:同+2.4%)。内訳をみると、「製造業」は同+0.4%、「鉱業」は同+0.7%、「公益事業」は同+2.6%と夫々増加。製造業の内訳をみると、半導体供給不足が指摘されている「自動車・同部品」は同▲4.3%減少した一方、「化学製品」(同+3.2%)、「一次金属」(同+1.7%)などは増加。4月の設備稼働率は74.9%と前月から+0.5%ポイント上昇。
- 3月の耐久財受注は前月比+1.0%と11ヵ月連続で増加(2月:同+1.3%)。内訳をみると、「輸送用機器」、「電機・家電」は減少した一方、「加工金属」、「一次金属」、「機械」、「家具」などは増加。設備投資の先行指標とされる非国防資本財受注(除く航空機)は3月に同+1.0%と、2ヵ月ぶりに増加(2月:同▲0.3%)。

鉱工業生産と設備稼働率の推移



(資料)FRB統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

耐久財受注の推移

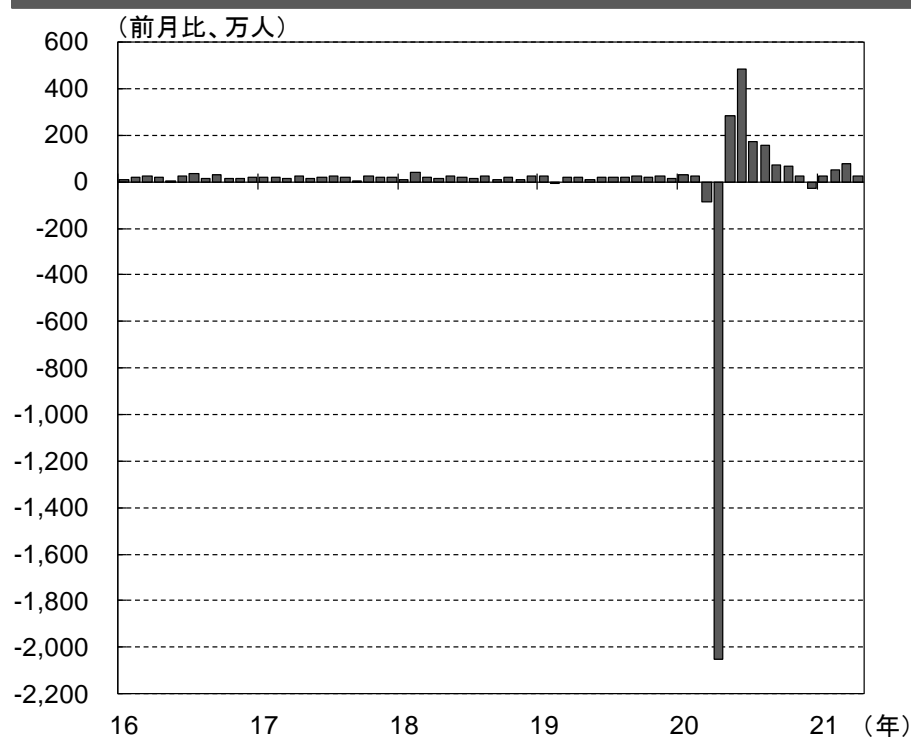


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

4. 雇用

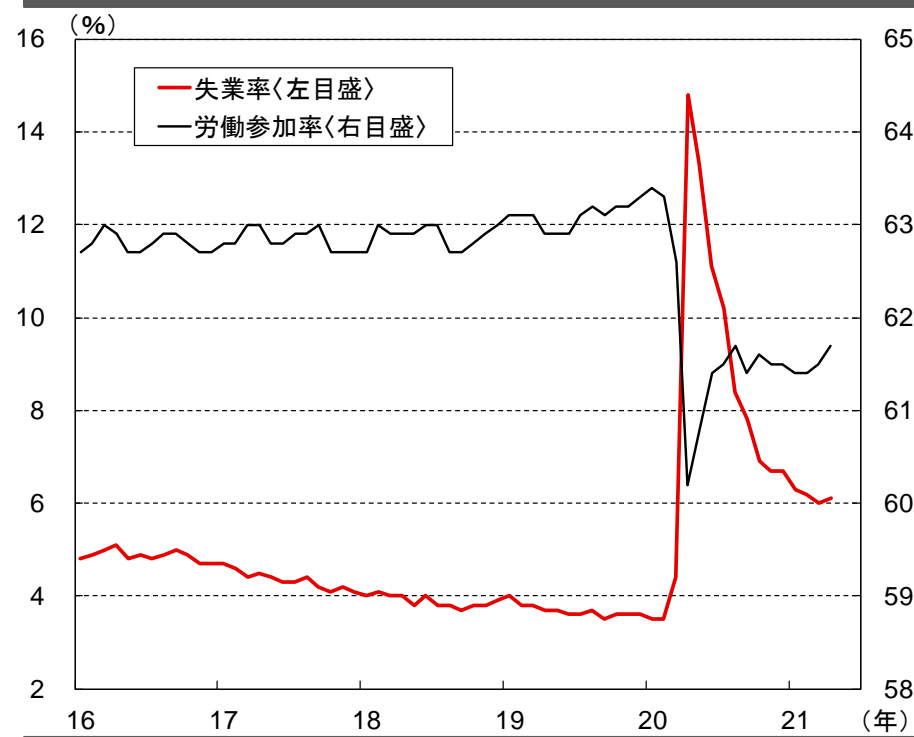
- 4月の非農業部門雇用者数は前月比+26.6万人と、3月(同+77.0万人)から伸びが減速し、市場予想(Bloomberg集計:同+100.0万人)を大幅に下回った。
- 業種別にみると、パンデミックによる悪影響を最も受けてきた「レジャー・飲食」は同+33.1万人と3ヵ月連続で大幅に増加し(3月:同+20.6万人)、「政府」(同+4.8万人)なども増加した一方、「輸送・倉庫」(同▲7.4万人)や「専門・ビジネスサービス」(同▲7.9万人)などは減少。
- 4月の失業率は6.1%と3月(6.0%)から上昇。失業者数は981.2万人と前月比+10.2万人増加し、パンデミック前(2020年2月)を+409.5万人上回る水準。労働参加率は61.7%と3月(61.5%)から上昇。
- 4月の時間当たり平均賃金(民間部門)は、前月比では+0.7%上昇(3月:同▲0.1%)、前年比では+0.3%上昇(3月:同+4.2%)。

非農業部門雇用者数の推移



(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

失業率の推移

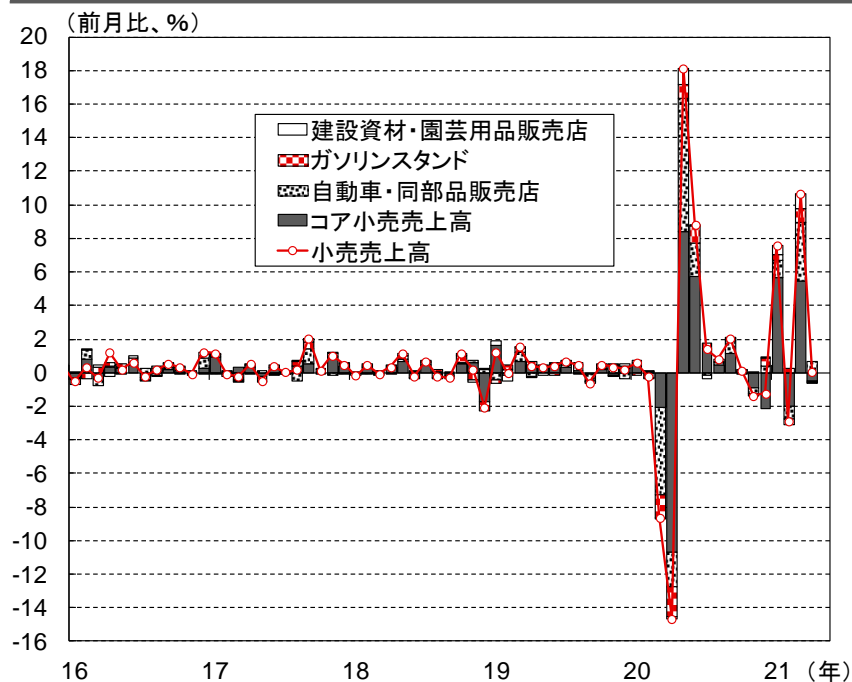


(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

5. 個人消費

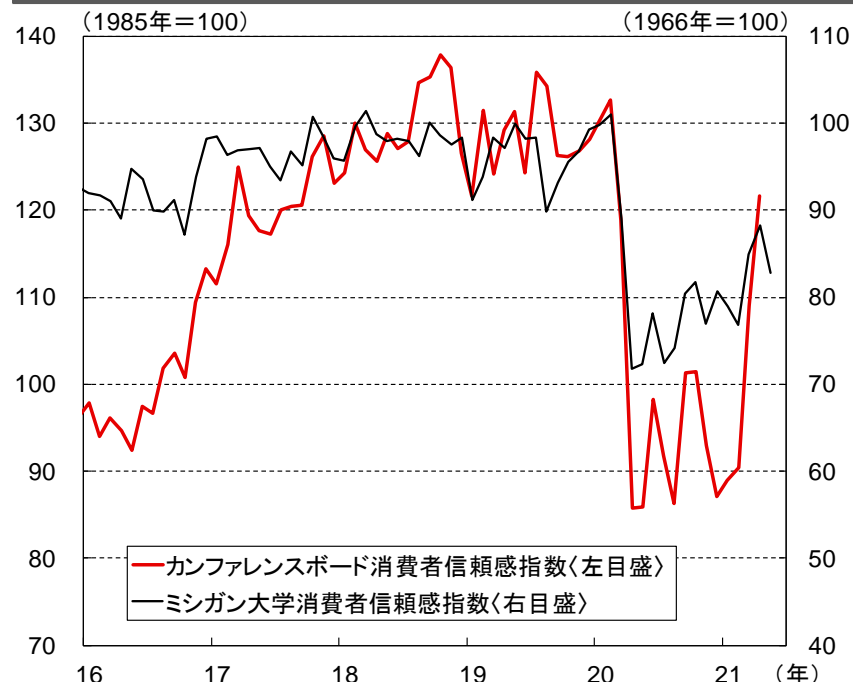
- 4月の小売売上高は前月比横這い(3月:同+10.7%)。業種別にみると、「飲食店」(同+3.0%)、「自動車・同部品販売店」(同+2.9%)、「電機・家電販売店」(同+1.2%)、「健康・パーソナルケア用品販売店」(同+1.0%)などは増加した一方、「衣服販売店」(同▲5.1%)、「一般小売店(百貨店含む)」(同▲4.9%)、「スポーツ用品・趣味・書籍・楽器店」(同▲3.6%)などは減少。コロナ禍の悪影響が大きかった「飲食店」の売上高は、パンデミック前(昨年2月)と比べた減少率が▲2.0%まで縮小。
- 4月のカンファレンスボード消費者信頼感指数は121.7と前月比+12.7上昇し、2020年2月以来の高水準を記録。内訳をみると、現況指数は139.6(同+29.5)、期待指数は109.8(同+1.5)と夫々上昇。現況指数の大幅な上昇には、ワクチン接種の進捗や各州による行動制限の緩和、3月11日に成立した米国救済計画(American Rescue Plan)法に基づき実施された家計への現金給付などが影響しているとみられる。
- 5月のミシガン大学消費者信頼感指数(速報値)は82.8となり前月比▲5.5低下。内訳をみると、現況指数は90.8(同▲6.4)、期待指数は77.6(同▲5.1)と夫々低下。調査責任者のカーティン氏は、インフレへの懸念を指数低下の要因として指摘。同調査による1年後と5年後の消費者の予想インフレ率は4.6%、3.1%と夫々2011年4月、同3月以来の高水準へ上昇。

小売売上高の推移



(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

消費者信頼感指数の推移

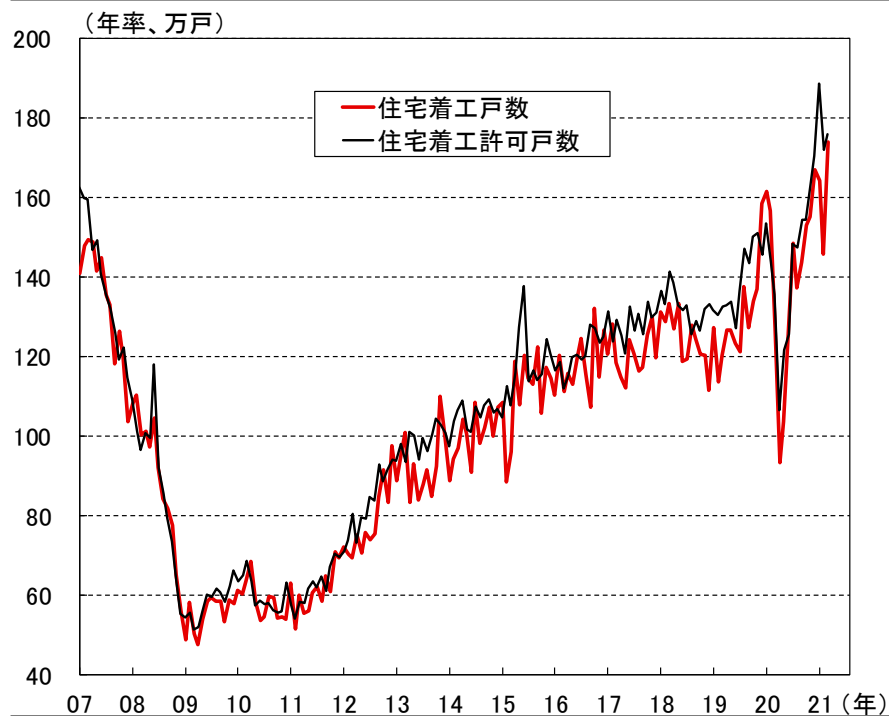


(資料)カンファレンスボード、ミシガン大学統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

6. 住宅

- 3月の住宅着工戸数は前月比+19.4%の年率173.9万戸(季節調整済)と、3ヵ月ぶりに増加(2月:同▲11.3%)。内訳をみると、一戸建住宅は同+15.3%、変動の大きい集合住宅(2世帯以上)は同+30.8%と夫々増加。着工戸数の先行指標である住宅着工許可戸数は同+2.3%の年率175.9万戸と2ヵ月ぶりに増加(2月:同▲8.8%)。2月には悪天候などを背景に住宅着工戸数は大きく減少していたが3月は反発。
- 住宅販売について、全体の9割程度を占める中古住宅販売戸数は3月に前月比▲3.7%の年率601.0万戸(季節調整済)と2ヵ月連続で減少。在庫率は2.2ヵ月(季節調整済)と2月(2.0ヵ月)から上昇。販売価格(中央値)は329,100ドル(季節調整前)と前年比+17.2%上昇し、2月(同+14.9%)から上昇ペースが加速。
- 新築住宅販売戸数は3月に前月比+20.7%の年率102.1万戸(季節調整済)と、2ヵ月ぶりに増加(2月:同▲16.2%)。在庫率は3.6ヵ月(季節調整済)と2ヵ月ぶりに低下(2月:4.4ヵ月)。販売価格(中央値)は330,800ドル(季節調整前)と前年比+0.8%上昇し、2月(同+4.2%)から上昇ペースが減速。

住宅着工戸数と住宅着工許可戸数の推移



(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

住宅販売戸数の推移



(資料)全米不動産業協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

7. 物価

- 4月の消費者物価指数は前月比+0.8%となり、3月(同+0.6%)から上昇ペースが加速。前年比では+4.2%と、2008年9月以来の高い伸びを記録(3月:同+2.6%)。前年比の内訳をみると、上昇率が高かった項目は「エネルギー」(同+25.1%)、「中古自動車」(同+21.0%)、「輸送・交通サービス」(同+5.6%)など。中古自動車価格の上昇は、政府の経済対策の下での給付金支給による需要増加などが影響しているとみられる。「食品」と「エネルギー」を除いたコア消費者物価指数は前月比では+0.9%(3月:同+0.3%)、前年比では+3.0%上昇(3月:同+1.6%)。
- 4月の生産者物価指数は前月比+0.6%と、3月(同+1.0%)から上昇ペースが減速。前年比では+6.2%となり、現行統計開始以降、最大の伸びを記録(3月:同+4.2%)。前年比の内訳をみると、「財」(同+10.7%)、「サービス」(同+4.0%)ともに3月から上昇ペースが加速。「食品」と「エネルギー」を除いたコア生産者物価指数は前月比では+0.7%と3月と同率。前年比では+4.1%(3月:同+3.1%)と、総合指数と同じく統計開始以降、最大の伸びを記録。

消費者物価指数の推移



(資料)米労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

生産者物価指数の推移



(資料)米労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

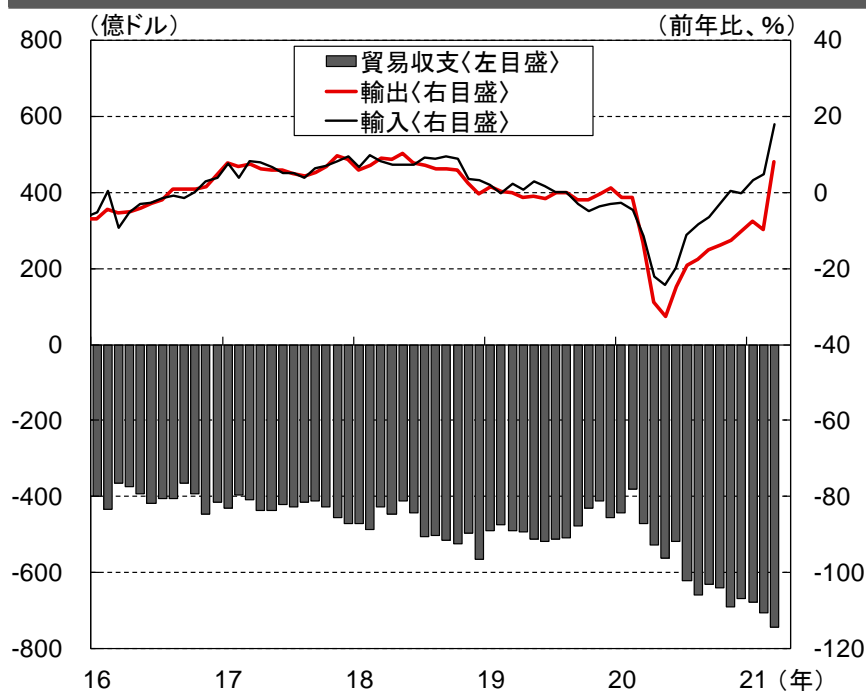
8. 国際収支

- 3月の貿易収支^(注1)(財・サービス)は744億ドルの赤字となり、赤字幅は前月比+5.6%拡大。各州で経済再開が進む中、堅調な内需を受けて、赤字幅は拡大傾向にある。財収支は916億ドルの赤字となり、赤字幅が同+4.1%拡大、サービス収支は171億ドルの黒字となり、黒字幅が同▲1.7%縮小。輸出は同+6.6%、輸入は同+6.3%増加し、前年比では輸出は+8.1%、輸入は+18.1%増加。
- 財の貿易収支を国・地域別にみると、米国の貿易赤字(財)の3分の1程度を占める^(注2)中国との貿易赤字は3月に369億ドルとなり、赤字幅が前月比+22.1%(同+67億ドル)拡大。中国に次いで貿易赤字が多い対メキシコでは貿易赤字(財)が84億ドルとなり、赤字幅が同+23.9%(同+16億ドル)拡大。

(注1)貿易収支は国際収支ベース。但し、国・地域別内訳(財)は通関ベース。

(注2)2020年の貿易赤字(財,通関ベース)は全体で9,050億ドル、うち対中国は3,108億ドル(全体の34%)。

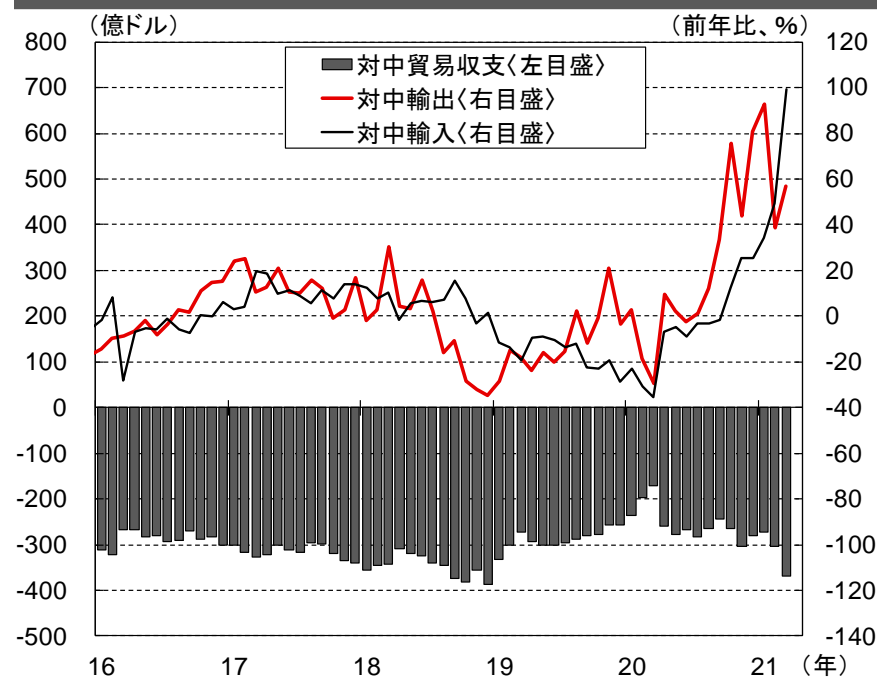
貿易収支と輸出入(財・サービス)の推移



(注)国際収支ベース。貿易収支は季節調整後。輸出入の前年比も季節調整後の数値を元に算出。

(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

対中貿易収支と対中輸出入(財)の推移



(注)通関ベース。貿易収支は季節調整後。輸出入の前年比も季節調整後の数値を元に算出。

(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

9. 金融市場動向

- 10年物国債利回りは、3月末に1.7%台半ばまで上昇した後低下地合で推移していたが、足元では物価関連指標が市場予想を上回ったことなどを背景に再び上昇して1.6%台で推移。
- ダウ平均株価は、4月雇用統計が市場予想を大幅に下回ったことで緩和的な金融政策がしばらく維持されるとの見方が強まり、5月7日に大きく上昇。その後は金利上昇などを背景に下落に転じ、5月14日の終値は過去最高値をつけた5月7日終値に比べて▲1.1%低下した水準。

10年物国債利回りの推移



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

ダウ平均株価の推移



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

参考表: 主要月次経済指標の推移①

主要月次経済指標の推移

		20年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	21年1月	2月	3月	4月	5月
企業活動・生産	ISM 製造業指数	43.1	52.2	53.7	55.6	55.7	58.8	57.7	60.5	58.7	60.8	64.7	60.7	-
	ISMサービス業指数	45.4	56.5	56.6	57.2	57.2	56.2	56.8	57.7	58.7	55.3	63.7	62.7	-
	鉱工業生産指数(2012年平均=100)	92.1	97.8	101.9	102.9	102.8	103.9	104.8	105.9	106.8	103.1	105.6	106.3	-
	前月比(%)	0.9	6.2	4.2	1.0	▲0.1	1.1	0.9	1.1	0.9	▲3.5	2.4	0.7	-
	設備稼働率(%)	64.8	68.9	71.8	72.5	72.5	73.2	73.9	74.7	75.3	72.7	74.4	74.9	-
	製造業受注(億ドル)	4,117	4,382	4,669	4,698	4,759	4,822	4,883	4,963	5,097	5,071	5,129	-	-
	前月比(%)	7.7	6.4	6.5	0.6	1.3	1.3	1.3	1.6	2.7	▲0.5	1.1	-	-
	うち耐久財受注(億ドル)	1,926	2,075	2,319	2,329	2,378	2,421	2,452	2,483	2,572	2,549	2,569	-	-
	前月比(%)	15.0	7.7	11.8	0.4	2.1	1.8	1.3	1.2	3.6	▲0.9	0.8	-	-
雇用・個人消費	非農業部門雇用者数(前月比、万人)	283.3	484.6	172.6	158.3	71.6	68.0	26.4	▲30.6	23.3	53.6	77.0	26.6	-
	時間当たり平均賃金(ドル)	29.74	29.35	29.37	29.47	29.50	29.52	29.61	29.91	29.92	30.00	29.96	30.17	-
	前年比(%)	6.7	5.0	4.7	4.7	4.8	4.5	4.5	5.5	5.2	5.2	4.2	0.3	-
	失業率(%)	13.3	11.1	10.2	8.4	7.8	6.9	6.7	6.7	6.3	6.2	6.0	6.1	-
	個人所得(年率、億ドル)	202,461	200,327	201,739	196,243	197,622	196,287	193,863	194,913	214,983	199,949	242,077	-	-
	前月比(%)	▲4.0	▲1.1	0.7	▲2.7	0.7	▲0.7	▲1.2	0.5	10.3	▲7.0	21.1	-	-
	個人消費(年率、億ドル)	131,654	140,146	142,247	143,972	145,827	146,271	145,328	144,511	149,363	147,855	154,016	-	-
	前月比(%)	8.7	6.5	1.5	1.2	1.3	0.3	▲0.6	▲0.6	3.4	▲1.0	4.2	-	-
	貯蓄率(%)	24.7	19.0	18.4	14.6	14.1	13.1	12.5	13.5	20.0	13.9	27.6	-	-
	小売売上高(億ドル)	4,843	5,269	5,343	5,386	5,495	5,500	5,426	5,360	5,765	5,600	6,198	6,199	-
	前月比(%)	18.1	8.8	1.4	0.8	2.0	0.1	▲1.4	▲1.2	7.6	▲2.9	10.7	0.0	-
	自動車販売台数(年率、万台)	1,211	1,302	1,463	1,511	1,630	1,637	1,571	1,623	1,677	1,590	1,796	1,851	-
	前月比(%)	38.9	7.5	12.3	3.3	7.9	0.4	▲4.0	3.3	3.3	▲5.2	12.9	3.1	-
カンファレンスボード消費者信頼感指数	85.9	98.3	91.7	86.3	101.3	101.4	92.9	87.1	88.9	90.4	109.0	121.7	-	
ミシガン大学消費者信頼感指数	72.3	78.1	72.5	74.1	80.4	81.8	76.9	80.7	79.0	76.8	84.9	88.3	82.8	

(資料) 各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

参考表: 主要月次経済指標の推移②

主要月次経済指標の推移

		20年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	21年1月	2月	3月	4月	5月
住宅	住宅着工戸数(年率、万戸)	104	127	149	137	144	153	155	167	164	146	174	-	-
	前月比(%)	11.1	21.9	17.5	▲7.7	4.7	6.5	1.5	7.5	▲1.7	▲11.3	19.4	-	-
	中古住宅販売戸数(年率、万戸)	401	477	590	597	644	673	659	665	666	624	601	-	-
	前月比(%)	▲8.2	19.0	23.7	1.2	7.9	4.5	▲2.1	0.9	0.2	▲6.3	▲3.7	-	-
物価	新築住宅販売戸数(年率、万戸)	70	84	98	98	97	97	86	95	101	85	102	-	-
	前月比(%)	22.5	20.3	16.5	▲0.2	▲1.2	0.0	▲11.2	10.7	6.4	▲16.2	20.7	-	-
	消費者物価指数(1982~84年=100)	256.4	257.8	259.1	259.9	260.3	260.4	260.2	260.5	261.6	263.0	264.9	267.1	
	前月比(%)	▲0.1	0.5	0.5	0.4	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	0.4	0.6	0.8	
国際収支	前年比(%)	0.1	0.6	1.0	1.3	1.4	1.2	1.2	1.4	1.4	1.7	2.6	4.2	
	生産者物価指数(2009年11月=100)	117.3	117.7	118.4	118.5	118.7	119.5	119.3	119.4	121.0	121.7	123.1	123.9	
	前月比(%)	0.4	0.3	0.5	0.2	0.3	0.6	0.0	0.3	1.3	0.5	1.0	0.6	
	前年比(%)	▲1.1	▲0.7	▲0.3	▲0.3	0.3	0.6	0.8	0.8	1.7	2.8	4.2	6.2	
輸出(財、億ドル)	輸出(財、億ドル)	898	1,028	1,153	1,188	1,225	1,263	1,276	1,336	1,359	1,312	1,429	-	-
	輸入(財、億ドル)	1,665	1,753	1,969	2,033	2,039	2,082	2,145	2,177	2,211	2,192	2,344	-	-
	貿易収支(財、億ドル)	▲767	▲724	▲815	▲845	▲814	▲819	▲869	▲841	▲852	▲879	▲916	-	-
	貿易収支(財・サービス、億ドル)	▲563	▲518	▲621	▲661	▲632	▲640	▲690	▲670	▲678	▲705	▲744	-	-

(注)『消費者物価指数』とその『前年比』、『生産者物価指数』とその『前年比』は季節調整前。

(資料) 各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当部はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

会社名 : 株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室(ニューヨーク)
1251 Avenue of the Americas, New York, NY 10020, USA

照会先 : 岡田 知恵 e-mail : cokada-wighe@us.mufg.jp